事業番号	交付対象事業名	道(	の駅「奥津温泉」	飲食機	能の強化による滞る	<b>生型観</b>	担当部課名	産業観光課	
٥	メニュー例の分野	5	観光振興•ጛ	対内値	接投資		事業始期	平成29年4月	
2	政策5原則との関係	1	自立性	0				事業終期	令和4年3月

## 1. 事務事業の概要

事業の概要:目的	事業の概要:交付金を充当する経費内容
本町の観光拠点である道の駅「奥津温泉」の食堂の隣に多目的交流スペースの整備を行うことで、食堂での郷土食の提供や農林水産物に付加価値をつける等の6次産業化、特産品開発に加えて、体験、研修、イベント等により、新たな地域交流の場を創出し、観光、食、文化を中心とした産業の活性化を図る。	道の駅「奥津温泉」多目的交流スペースの整備

## 2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

① <b>対</b>	†象(誰、何を対象にしているのか)		③対	象数の推移	単位	区分	29 年度	30 年度	元 年度	2 年度
ア	道の駅「奥津温泉」の利用客	$\rightarrow$	ア	道の駅「奥津温泉」の利用客数		見込	187222222222222222222222222222222222222	######################################	169,500	170,500
	Z=0 ij( )()   / im/()   0   1//()		•	20030 507 1200 1370 1370	^	実績	138,103	123,723	131,113	**********
1	道の駅「奥津温泉」食堂の年間売上高		1	食堂の年間売上高		見込	######################################	######################################	51,300	51,900
1	造の駅・	<b>_</b>	*1		千円	実績	48,530	42,794	45,497	**********
			ь	新規雇用者数	I	見込	**********	**********	1	1
.,	道の駅「奥津温泉」新しい雇用者数		.)	机风准用日数 		実績	_	0	0	****************

②意	i図(対象をどのような状態にしたいのか)		④成果指標(意図の達成度)			区分	29 年度	30 年度	元 年度	2 年度
ア	道の駅「奥津温泉」を利用してもらう	$\rightarrow$	ア	道の駅「奥津温泉」の利用客数	人	目標 実績	164,500 138,103	168,500 123,723	169,500 131,113	170,500
イ	道の駅「奥津温泉」の食堂を利用してもらう	$\rightarrow$	1	    食堂の年間売上高 	千円	達成率 目標 実績 達成率	84.0% 49,800 48,530 97.4%	73.4% 50,700 42,794 84.4%	77.4% 51,300 45,497 88.7%	51,900
ゥ	道の駅「奥津温泉」の雇用者を増やす	$\rightarrow$	ゥ	新規雇用者数	人	目標 実績 達成率	1 - -	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1

## 3. 事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	1	-	一般	款	06	農林	水産業費	項	Į	01		農業費	目	06	農業施設	費
内訳	国庫支出金県支出金			出金		町	債	その他特財		-	一般財源		合計				
予算(千円)	7,5	7,528				6,700							11,8	872			
決算(千円)	7,528				6,700							11,105			25,333		
主な	委託料				1,500 千円			主な			委託料			1,469	千円		
支出事業内容	工事請負費			2	2,148	8 千円 支出事業内容				工事請負費					22,147	千円	
(予算)	備品購入費				2,452 千円 (決 🤄			<u>[</u> )	備品購入費				1,717	千円			

## 

① <i>J</i>	成果実績の目標達	成度とその要因	②地方創生に対する事業効果								
	目標值以上	交通量の減少に伴う来客数の減少や景気低迷による客単価の減少に より、経営が厳しい状況にある。	□ 地方創生に非常に効果的であった								
	目標値どおり		□ 地方創生に相当程度効果があった								
7	目標以下		☑ 地方創生に効果があった								
			□ 地方創生に効果がなかった								
3:	今後の課題解決の	ための改革改善の方法									
	・執務スペースの配置工夫等による部署間コミュニケーション促進 ・周辺の観光資源を活用し地域の拠点として利用されるように関係機関との協働を行う										
4	④評価委員会の意見 ⑤戦略KPIに対する事業効果										
標も作	売上高が下がっている中で雇用者数を増やせば赤字になるので、売上高が伸びなければ他の指標も伸びていかない。道の駅奥津温泉にポイントを絞るのではなく、周辺環境を含めて改善を行り、総合戦略のKPI達成に有効であったい、点ではなく線で観光客増加を目指していく必要がある。一定の取組は行われていることは理り、										
		を判断するとなると、有効とは言えないと言わざるを得ない。	☑ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない								